

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 2月えんだより

2月聖句：「わたしは弱いときにこそ強いからです。」

<コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章 10節>

まだまだ寒い日が続きます。梅の花、少しずつ伸びる日脚に春の気配も感じます。毎年この時期は、感染症や花粉症に悩まされたり、外に出ることも億劫になったりもしますが、こども達が外で遊ぶ元気な姿や生き生きとした表情を見ますと羨ましくもあり、又襟を正す思いにもなります。

今月のお話は「弱いときにこそ強い」です。私たちが、自分の弱さを感じる時、あれもできない、これもできないと感じて、苦しみや悲しみを覚えた時はなかったでしょうか。人と比較をし、又は比較される中で、人に出来ることが自分にはできない時に、絶望を覚える時さえ私はありました。

米国のリハビリテーション研究所に掲げられている「病者の祈り」という題には以下のことが書かれています。「何事かを成し遂げようとして強い者となることを神に願い求めたが、謙遜に従うことを学ぶようにと弱い者にされた。より偉大なことができるようにと健康を願い求めたが、より良いことができるようにと病弱を与えられた。幸せになるために富を願い求めたが、本当の意味で賢くなるためにと貧しさが与えられた。・・・人の賞賛を得たくて権力を願い求めたが、自分が神を必要としていると感じることができるようにと弱さを与えられた。願い求めているものは何一つ得られなかったが、私は望んでいたものをすべて得た。」というものです。この詩を書いた人は、自分の弱さの苦しみの中で、神に救いを祈り願ったのです。しかし、願ったことは何一つ叶えられませんでした。彼は偉大な愛に気づかされたのです。何かを得ることによって喜んで生きるのではなく、私たちの命や人生が、神様によって与えられたものであることを知ること。何かを得ることによって喜びを得ようとしている間は、いつまでも不平不満から抜け出せず「神様によって与えられる」ことへ思いが変わったものは、喜んで生きることができるようになるのです。

2月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	みんなだいすき／そうなんだ	響き合う
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の自然を感じながら遊ぶ。</li> <li>・保育者の祈る姿を見て一緒に祈る。自分の言葉で神さまとお話する。</li> <li>・友だちと関わる中で、色々な思いに触れ考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友だちと遊び、気持ちが通じる楽しさを感じる。</li> <li>・お互いの存在を認め合い、相談しながら、時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ。</li> <li>・冬の自然の中に、次の季節への備えを知る。</li> </ul>
讚美歌	きょうも みんなに こども改 105	きゅうこんのなかには こども改 135